

## (社) 日本小児科医会

### 1. 学会の会員構成等

小児科標榜の医師：6, 428名（平成19年2月末現在）

※「子どもの心対策部」を設置している。

※子どもの心相談医は、一般診療をしながら、心の相談にも応じているので専門医とは少し違うかもしれないが、「子どもの心の診療医」の養成研修コースのモデル（イメージ）から判断すると、実際は専門医に含めるべきと考えた。

(1)一般の小児科医・精神科医	6, 428人
(2)子どもの心の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医	1, 070人
(3)子どもの心の診療に専門的に携わる医師	0人

### 2. 対象疾患領域等

- ・子どもの心の発達から、小児科医が遭遇するであろう子どもの心の疾患

### 3. これまでの取り組み

- ・平成11年から「子どもの心研修会」を前期・後期合わせて4日間にわたり開催している。

平成15年度の年間受講者： 297人

平成16年度の年間受講者： 663人

平成17年度の年間受講者： 589人

平成18年度の年間受講者： 680人

- ・平成13年からは、思春期の心の問題に焦点を当て、思春期の臨床講習会も年1回開催している。

平成15年度の年間受講者： 163人

平成16年度の年間受講者： 140人

平成17年度の年間受講者： 194人

平成18年度の年間受講者： 128人

- ・小児科医としての経験も考慮して、日本小児科学会の認定医および専門医で、本会の会員であれば研修会に参加できる。

・「子どもの心研修会」の4日間を履修した小児科医で、「子どもの心相談医」の登録申請をしたものを認定している。5年ごとの更新手続きには、「子どもの心研修会」の後期再受講が必須である。

平成15年度の年間認定者： 78人

平成16年度の年間認定者： 97人

平成17年度の年間認定者： 103人

平成18年度の年間認定者： 128人

- ・その他に、子どもの心に関する講習会ないし講演会を受講して（1時間2単位）、合計30単位の履修を義務づけている。

・カウンセリングの実際研修会は、平成15～16年度は研修のあり方を探るため、参加者を20名に限定して試験的に開催した。

平成17年度で東京においては34名の参加があった。福岡、大阪でも年度内開催予定。（会場運営や研修会の形式で、参加者は未定。）

#### 4. 平成18年度の取り組み

研修会は、受講希望は多いけれど、会場の都合で前期200名、後期400名に制限している。そのためか、「子どもの心相談医」の更新に後期受講が必須であるために更新ができない方もおられ、認定者数が減少してしまった。これは、今後の検討課題となっている。しかし、新規認定者は増加している。

カウンセリングの実際は、予算の都合で3か所しかできなかった。できれば5か所に増やしたいところである。

思春期の臨床講習会は、市民公開フォーラムと同時開催なため、医師の参加が制限されるという感じとなっている。

#### 5. 今後の取り組み

##### ○平成19年度の計画

- ・子どもの心研修会受講者数を300名（地方での開催のため受講者数が少ない見込み）
- ・思春期の臨床講習会受講者数を200名
- ・カウンセリングの実際研修会を5か所で開催
- ・子どもの心相談医を1,300名に（目標）

##### ○平成20年度の計画

- ・子どもの心研修会受講者数を400名
- ・思春期の臨床講習会受講者数を200名
- ・カウンセリングの実際研修会を5か所で開催
- ・子どもの心相談医を1,400名に（目標）

##### ○平成21年度の計画

- ・子どもの心研修会受講者数を300名（地方での開催のため受講者数が少ない見込み）
- ・思春期の臨床講習会受講者数を200名
- ・カウンセリングの実際研修会を5か所で開催
- ・子どもの心相談医を1,450に（目標）

##### ○平成22年度の計画

- ・子どもの心研修会受講者数を400名
- ・思春期の臨床講習会受講者数を200名
- ・カウンセリングの実際研修会を5か所で開催
- ・子どもの心相談医を1,550名に（目標）